

● 環境経営報告書



- ・環境経営の考え方
- ・製品に関する取り組み
- ・事業所に関する取り組み
- ・環境経営の基盤
- ・環境社会貢献／環境コミュニケーション

● 社会的責任経営報告書



- ・CSRの考え方
- ・誠実な企業活動
- ・環境との調和
- ・人間尊重
- ・社会との調和

● アニュアル・レポート*



- ・経営方針
- ・経営成績
- ・財政状態

* 印刷物としての発行は英語版のみです。
ホームページ上では日本語版も掲載しています。
(http://www.ricoh.co.jp/IR/financial_data/annual_report/)

● 対象読者

リコーグループの環境経営に関する、現在および将来的なステークホルダーの方々を対象読者として編集しました。読者の関心の高い活動については、「FOCUS」のページを設け、効果的なコミュニケーションを心がけました。

● 情報開示方針

グローバルな情報開示

環境問題は国境を超えた問題であり、事業や環境社会貢献活動を行う各国や地域での、地元に着目した活動が重要です。そのため当報告書では、グローバルなパートナーシップに基づく環境経営活動を報告しています。

経済的側面に関する情報開示

リコーグループでは、経営の全ての分野に「環境」の視点を取り入れて、環境経営を実現するための改善を図っています。そのため、各部門やグループ全体の活動による環境保全効果と経済効果を把握し、「環境会計」による情報開示を行っています。

編集方針	1
対象読者／情報開示方針／目次	2
世界一の環境経営を目指して	3
報告書の構成と環境経営の全体像	5

環境経営の考え方

私たちの目指す姿(Three P's Balance)	7
循環型社会実現のためのコンセプト(コメットサークル)	8
2010年長期環境目標と環境経営の推進	9
2005年度からの環境行動計画	11
2004年度までの環境行動計画とその成果	13

製品に関する取り組み

製品開発の考え方	15
省エネルギー・温暖化防止	19
省資源・リサイクル	23
汚染予防	27
FOCUS(仕入先企業と進める化学物質管理)	31

事業所に関する取り組み

省エネルギー・温暖化防止	33
省資源・リサイクル	39
FOCUS(海外生産拠点のごみゼロ活動)	41
汚染予防	43

環境経営の基盤

環境マネジメントシステム	47
環境経営情報システム	49
エコバランス(環境負荷の把握と目標設定)	51
環境会計	53
グリーンパートナーシップ	57
FOCUS(販売会社の環境経営モデル構築)	59
環境教育／環境啓発	61
環境社会貢献	63
FOCUS(環境ボランティアリーダー養成プログラム)	69
環境コミュニケーション	71

資料

報告期間・報告範囲	73
創業の精神・環境綱領・経営理念・環境報告原則	74
報告組織の概要	75
主な事業内容	76
サイト別データ	77
リコーグループの環境保全活動の歩み	79
「リコーグループ環境経営報告書2004」のアンケート結果	81
ワード別 INDEX	82
第三者検証	83